

※既提出資料からの修正箇所は黄ハッチ又は黄枠で示す。

敦賀発電所2号炉
敷地の地形，地質・地質構造
敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性

補足説明資料1
性状一覧表

令和6年5月31日
日本原子力発電株式会社

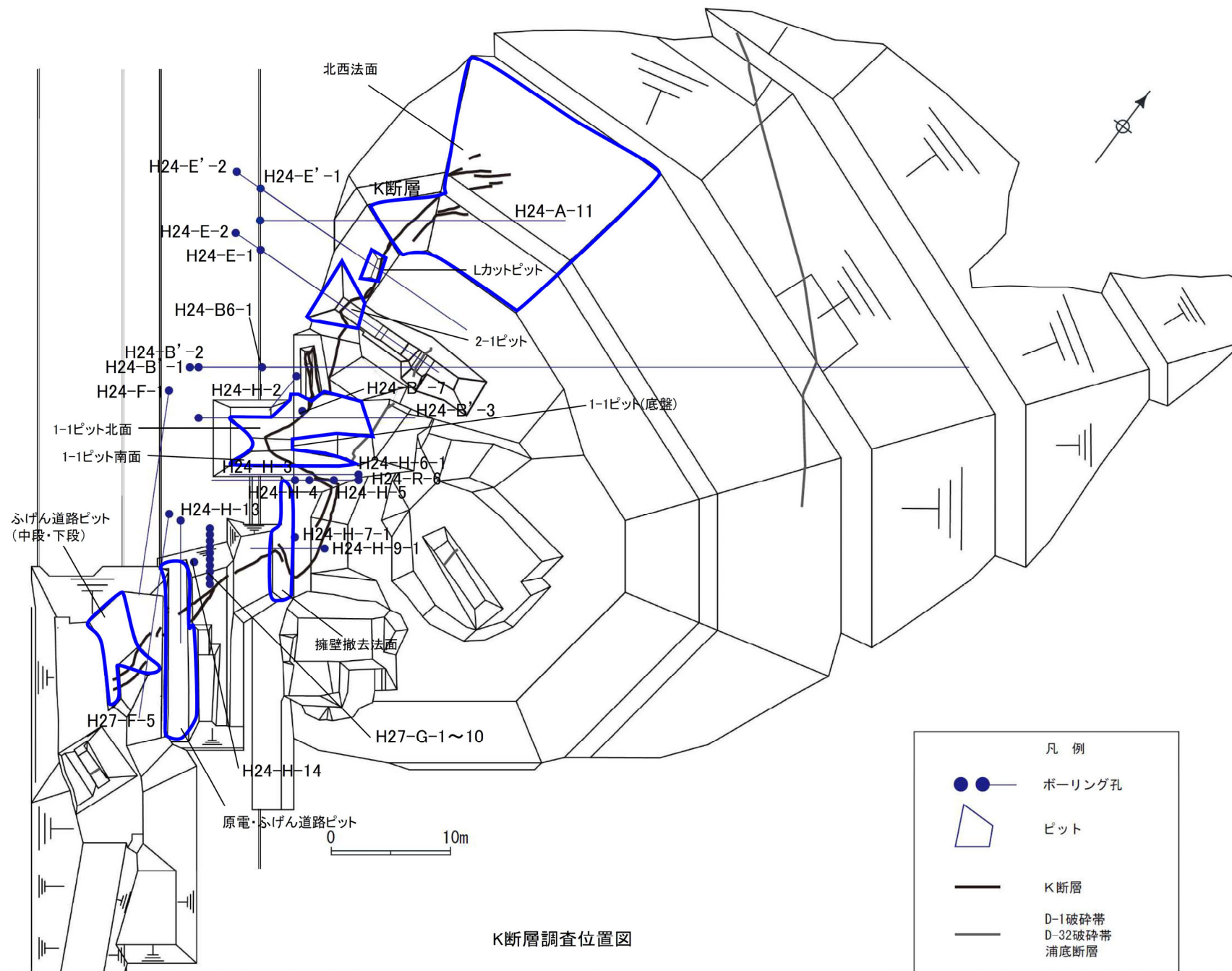
余白

目次

調査位置図.....	5
性状一覧表(K断層).....	7

余白

調査位置図

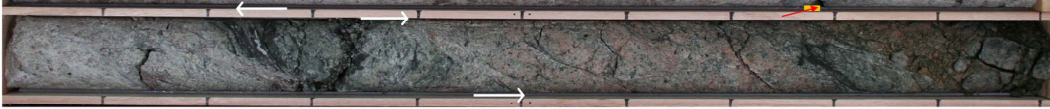


余白

性状一覽表 K断層

性状一覧表(K断層) (1/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

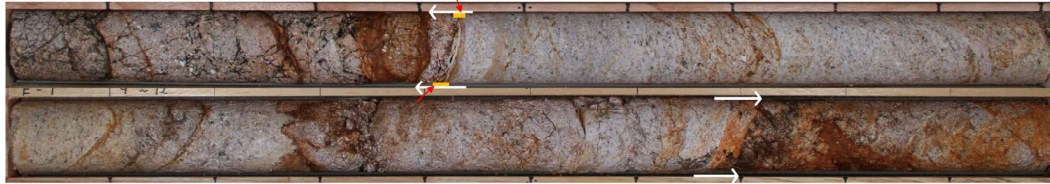
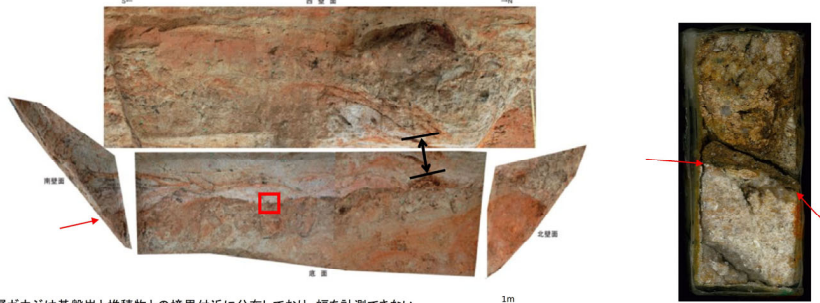
確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面 の 明瞭な せん断構造 変形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写 真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無									
							肉眼	薄片	総合			幅(cm) ^{※1,※4}	鉛直			水平
H24-E'-2 (傾斜65°)	-	18.24	19.45	NS	87W	53.0	有	有	有	0.8	有	60R	逆	右	K断層	18  19 19  20
H24-E'-1 (傾斜45°)	-	10.31	14.05	NS	66W	355.7	有	有	有	2.0	有	55L	逆	左	K断層	10  11 11  12 12  13 13  14 14  15
H24-A-11 (傾斜45°)	-	10.20	12.76	N5W	89W	181.0	有	有	有	1.0	有	80R	逆	-	K断層	10  11 11  12 12  13

	: 最新活動面		: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層ガウジ		: 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載

- (上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (2/11)

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の明瞭なせん断構造 ^{※1}	条線方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名／断層名	写真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅(cm) ^{※1,※4}	鉛直			水平
							肉眼	薄片	総合							
H24-E-2 (傾斜65°)	-	13.23	15.82	N33W	60SW	224.3	有	有	有	3.0	有	53R	逆	右	K断層	13 14 15 16 
H24-E-1 (傾斜45°)	-	8.41	9.70	N21W	71W	111.7	有	有	有	1.0	有	55R	逆	右	K断層	8 9 10 
LCカット ビット	-	-	-	N13W	76W	30.0	有	有	有	- [※]	有	80R	逆	-	K断層	西壁面 東壁面 北壁面 南壁面 断層 1m  ※ 断層ガウジは基盤岩と堆積物との境界付近に分布しており、幅を計測できない。

	:最新活動面		凡例
	:断層ガウジ		:断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載

- (上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (3/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の明瞭なせん断構造変形構造 ^{※1}	条線方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写真	
		上端深度(m)	下端深度(m)				有無									
							肉眼	薄片	総合			幅(cm) ^{※1,※4}	鉛直			水平
2-1 ビット	-	-	-	N1W	69W	40.0	有	有	有	0.4	有			78R	逆	
H24-B6-1 (傾斜45°)	-	3.00	4.00	-※	-※	100.0	無	-	無	-	-	-	-	-	K断層	3  4 本破砕部の最新活動面は、深度3.00m以浅の人為的に錯乱された堆積物中を通過している。 ※ 走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかった。
H27-F-1 (傾斜50°)	-	20.29	20.88	N11E	76W	51.8	有	-	有	0.2	有	70L	-	-	K断層	20  21
H24-B'-1 (傾斜45°)	-	7.50	10.93	N12W	89W	242.5	有	有	有	1.0	有	55L	逆	左	K断層	7  8 9 10 11

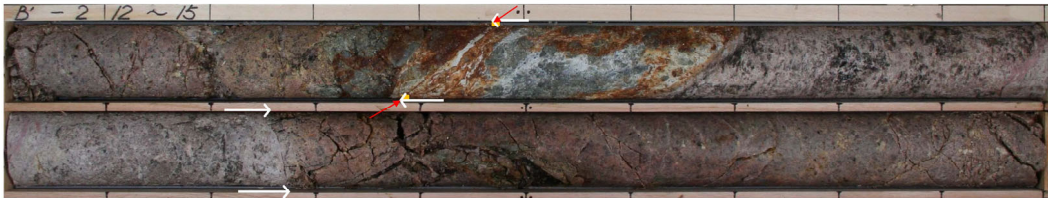
凡 例	
	: 最新活動面
	: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (4/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅※4 (cm)	断層ガウジ・断層角礫				最新活動面の明瞭なせん断構造変形構造※1	条線方向※2	変位センス※3		破砕帯名 断層名	写真
		上端深度(m)	下端深度(m)				有無			幅(cm)※1,※4			鉛直	水平		
							肉眼	薄片	総合							
H24-B'-2 (傾斜70°)	-	12.42	13.27	N4E	73W	52.3	有	-	有	0.3	有	70R	-	-	K断層	12 13 
H24-H-2 (傾斜70°)	-	5.02	5.38	N29W	66W	12.3	有	-	有	2.5	有	75R	-	-	K断層	5 
H24-B'-7 (鉛直)	-	0.62		N28W	62W	-	-	-	-	-	-	30R	-	-	K断層	0  ※ 本破砕部は堆積物中のせん断面である。
H24-B'-3 (傾斜45°)	-	7.37	7.70	NS	84W	19.4	有	有	有	0.3	無	50L	逆	左	K断層	7 
1-1ビット 北面	-	-	-	N10W	60W	8.0	有	-	有	0.5	有※	86R	逆※	-	K断層	 0.1m ※ 露頭観察

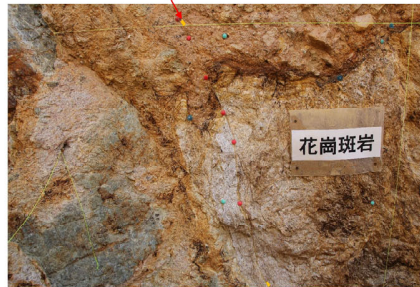
凡 例	
	: 最新活動面
	: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (5/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

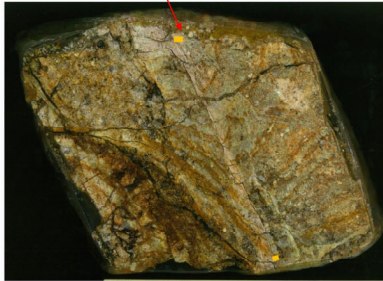
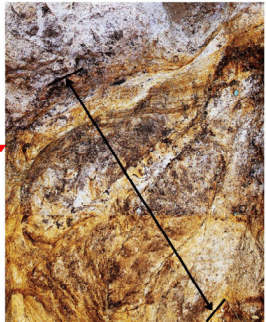
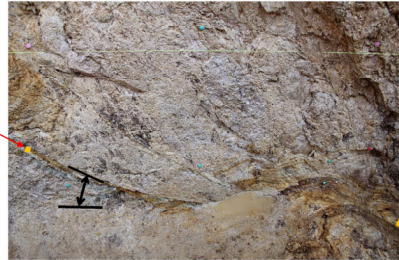
確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫				最新活動面 の 明瞭な せん断構造 変形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写 真
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無			幅(cm) ^{※1,※4}			鉛直	水平		
							肉眼	薄片	総合							
1-1ビット 南面1	-	-	-	N23W	69W	3.0	有	-	有	0.8	有 [※]	79R	逆 [※]	-	K断層	 0.1m ※ 露頭観察
1-1ビット 南面2	-	-	-	N43W	80W	-	有	-	有	0.8	有 [※]	87L	逆 [※]	-	K断層	 ※ 露頭観察 0.1m
1-1ビット 南面3	-	-	-	N79W	52W	40.0	有	-	有	0.8	有 [※]	82L	逆 [※]	-	K断層	 0.1m ※ 露頭観察

凡 例	
	: 最新活動面
	: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層ガウジ
	: 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (6/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫				最新活動面 の 明瞭な せん断構造 変形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写 真
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無			幅(cm) ^{※1,※4}			鉛直	水平		
							肉眼	薄片	総合							
1-1ビット 底盤1	-	-	-	N66W	76S	150.0	有	有	有	0.6	有	70L	逆	-	K断層	05E← →NNW   
1-1ビット 底盤2	-	-	-	N54E	67E	10.0	有	-	有	0.4	有 [※]	25R	逆 [※]	右 [※]	K断層	 ※ 露頭観察 0.1m
1-1ビット 底盤3	-	-	-	N74W	68W	8.0	有	-	有	0.3	有 [※]	63L	逆 [※]	左 [※]	K断層	 ※ 露頭観察 0.1m

凡 例	
 : 最新活動面	 : カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
 : 断層ガウジ	 : 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (7/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			幅(cm) ^{※1,※4}	最新活動面 の 明瞭な せん断構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写 真
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無						鉛直	水平		
							肉眼	薄片	総合							
H24-H-6-1 (傾斜45°)	-	9.58	14.36	NS	64W	41.7	有	有	有	0.8	有	61R	逆	-	K断層	11-8-114~12 
H24-H-3 (鉛直)	-	5.39		N36W	59SW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K断層	6  本破砕部は堆積物中のせん断面である。
H24-H-4 (鉛直)	-	3.87		N48W	58SW	-	-	-	-	-	-	90	-	-	K断層	3  本破砕部は堆積物中のせん断面である。
H24-H-5 (鉛直)	-	0.24		(未測定)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	K断層	0  本破砕部は堆積物中のせん断面である。

	: 最新活動面		凡 例
	: 断層ガウジ		: 断層角礫
	: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す		

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (8/11)

確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面 の 明瞭な せん断構造 変形構造 ^{※1}	条線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 ／ 断層名	写 真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅(cm) ^{※1,※4}	鉛直			水平
							肉眼	薄片	総合							
H24-H-6 (傾斜45°)	-	9.92	14.69	N23W	52W	33.2	有	有	有	1.0	有	75L	逆	-	K断層	9 10 11 12 13 14 15 
H27-F-5 (傾斜50°)	-	11.02	11.63	N12E	81W	49.1	有	-	有	1.0	有	60L	-	-	K断層	11 12 
H24-H-13 (傾斜60°)	-	8.89	9.80	N10W	72W	52.2	有	有	有	2.5	有	50R	逆	右	K断層	8 9 

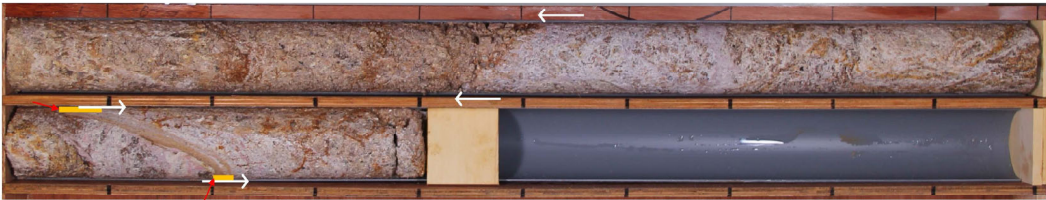
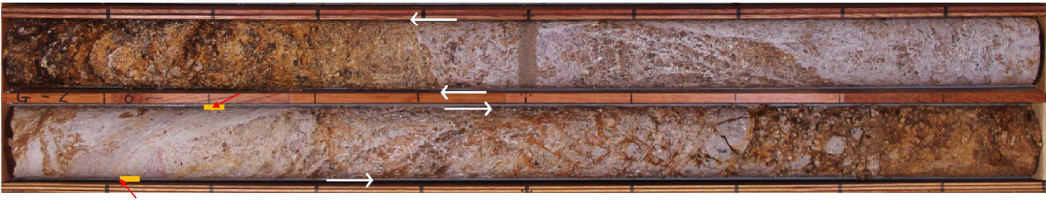
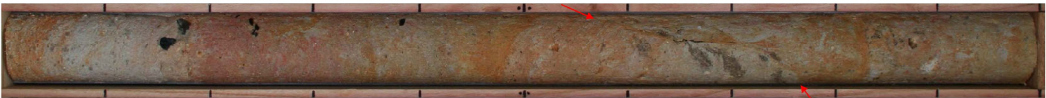
	: 最新活動面		: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層ガウジ		: 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載

- (上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (9/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

確認 箇所	破砕部 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面 の 明瞭な せん断構造 変形構造 ^{※1}	糸線 方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写 真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅(cm) ^{※1,※4}	鉛直			水平
							肉眼	薄片	総合							
H27-G-1 (鉛直)	-	6.48	7.24	(未測定)		23.5	有	-	有	1.5	有	-	-	K断層	6 7 	
H27-G-2 (鉛直)	-	5.40	6.40	(未測定)		34.2	有	-	有	1.0	有	-	-	K断層	5 6 	
H24-H-7-1 (鉛直)	-	3.73		N5E	73W	-	-	-	-	-	90	-	-	K断層	3 4  本破砕部は堆積物中のせん断面である。	
H27-G-3 (鉛直)	-	5.11	5.75	(未測定)		45.3	有	-	有	2.0	有	-	-	K断層	5 6 	
H27-G-4 (鉛直)	-	4.92	5.15	(未測定)		14.2	有	-	有	4.8 [※]	有	-	-	K断層	4 5  ※ 断層ガウジ(0.8cm)と断層角礫(4.0cm)の合算値	

	: 最新活動面		: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層ガウジ		: 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (10/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫				最新活動面の明瞭なせん断構造変形構造 ^{※1}	条線方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 / 断層名	写真	
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無			幅(cm) ^{※1,※4}			鉛直	水平			
							肉眼	薄片	総合								
H24-H-9-1 (傾斜60°)	-	10.43	11.00	NS	86W	24.1	有	有	有	1.0	有	60L	逆	左	K断層	10	
H27-G-5 (鉛直)	-	4.30	4.80	(未測定)		28.7	有	-	有	17.2 [※]	有	-	-	-	K断層	4	 ※ 断層ガウジ(0.2cm)と断層角礫(14.6cm, 2.4cm)の合算値
H27-G-6 (鉛直)	-	4.09	4.25	(未測定)		11.3	有	-	有	5.4 [※]	有	-	-	-	K断層	4	 ※ 断層ガウジ(1.5cm)と断層角礫(3.9cm)の合算値
H24-H-14 (鉛直)	-	4.93	7.95	N3W	55W	173.2	有	有	有	3.5	有	50R	逆	右	K断層	4 5 6 7 8	
H27-G-7 (鉛直)	-	3.30		(未測定)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	K断層	3	 ※ 本破砕部は堆積物中のせん断面である。

	: 最新活動面		: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す
	: 断層ガウジ		: 断層角礫

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載

-(上記以外): データを取得していない箇所

性状一覧表(K断層) (11/11)

第1239回審査会合
資料3-1-2 修正

確認箇所	破砕部番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 ^{※4} (cm)	断層ガウジ・断層角礫			最新活動面の明瞭なせん断構造 ^{※1}	条線方向 ^{※2}	変位センス ^{※3}		破砕帯名 断層名	写 真		
		上端深度 (m)	下端深度 (m)				有無					幅(cm) ^{※1,※4}	鉛直				水平
							肉眼	薄片	総合								
H27-G-8 (鉛直)	-	2.60		(未測定)	-	-	-	-	-	-	-	-	K断層	2		3	
※ 本破砕部は堆積物中のせん断面である。																	
H27-G-9 (鉛直)	-	2.00		(未測定)	-	-	-	-	-	-	-	-	K断層	1		2	
														2		3	
※ 本破砕部は堆積物中のせん断面である。																	
H27-G-10 (鉛直)	-	1.20		(未測定)	-	-	-	-	-	-	-	-	K断層	1		2	
※ 本破砕部は堆積物中のせん断面である。																	
ふげん道路 ビット	-	EL + 14.8m		N5W	67W	-	-	-	-	-	-	逆 [※]	-	K断層			
※ 露頭観察																	
50 cm																	

	: 最新活動面		凡 例
	: 断層ガウジ		: 断層角礫
			: カラーバーが付いていない区間はカタクレーサイトを示す

※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 卓越しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 ※4 破砕幅は実幅を記載
 -(上記以外): データを取得していない箇所